

3・25数万数十万決起にむけて奮闘しよう

日刊 動労千葉

83.12.2

No. 1507

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二二二七二〇七

寒風つゞぎ、三里塚現地集会開かる

※※※※※※※※※※

十一月二一日、長谷川、沼田会談は二期早期着工にむけた共同声明を発表するという状況のもとでいよいよ緊迫の度を深める三里塚現地において、十一月二七日、東京実行委員会が主催する総決起集会が開かれました。
集会には反対同盟を先頭に、一一六〇名が参加し、権力、脱落派一体となった組織破壊攻撃を打ち破つて、3・25現地集会の大高揚を勝ちとり、絶対に二期阻止闘争に勝利する決意を打ち固めました。

※※※※※※※※※※

三里塚の勝利が日本の反帝闘争の勝利 ——東実・浅田世話人が基調提起——

二年四か月ぶりに行われた長谷川運輸大臣と沼田県知事の会談によって、二期早期着工が宣言されたことは、脱落派と公団の話し合いが進んだことを示しており、脱落派幹部による岩山記念館襲撃・暴力事件と合わせ、集会参加者の顔に緊迫感と怒りがみなぎる中、青年部を中心とした動労千葉七〇名の入場をまっけて集会は始まりました。

東実の高島世話人、動労千葉・関川前委員長をはじめ、各界人士からの連帯のあいさつを受けた後、東実・浅田代表世話人より、基調提起をうけました。

浅田氏は「世界がいつ戦争になるか予測できない状況の中、全世界で反核・反戦の嵐のような運動が巻き起っている。日本列島が核基地化の事態に直面している中でむかえた11・9レーガン来日に対し、社共・総評は体制迎合の姿勢を深めている。唯一、三里塚勢力のみが決起した。今こそ人民大衆の決起による戦闘的統一戦線をつくらねばならない。闘う主体を基礎にすえた運動で、3・25に数万、数十万の大衆を結集すれば勝利を獲得する。二期着工に対し、敷地内農民を守り、基盤整備の闘いを推進しよう。三里塚闘争こそ日本の反戦・反帝闘争の基軸であることを確認しよう。三里塚の勝利が日本の反帝闘争の勝利であることを確認しよう」との基調を提起しました。

三里塚を闘う労働者こそが中曽根内閣を打倒できる ——布施書記長の決意表明——

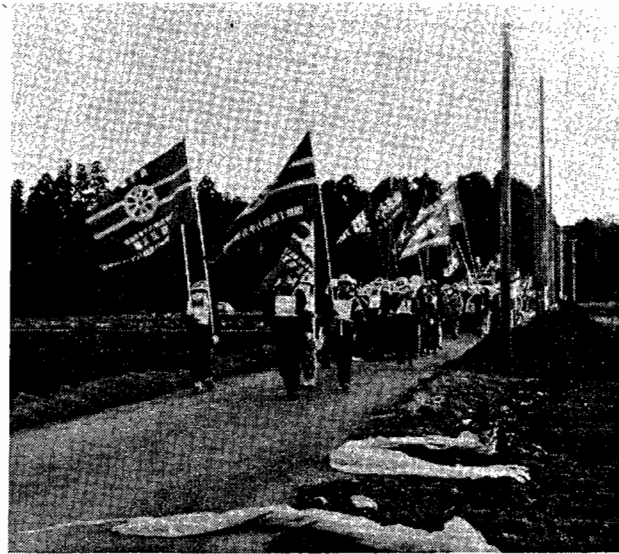
動労千葉を代表して登壇した布施書記長は「激動の深まりは闘う者と屈服する者の区別を鮮明にしている。情勢は合理化や賃金を支払わないところまで攻撃が強まっている。動労革マルのように当局の尖兵となり、セクト的にのみ生きる集団も

生まれている。日本の労働運動がなぜこうなったのかみさえ、不転の決意で決起することが求められている。中曽根を打倒する以外に展望が切りひらけない状況のもとで、この闘いを担いぬけるのは三里塚を闘う労働者のみであることを11・9レーガン来日阻止闘争は明らかにした。この秋から八四年にかけて、歴史を画する闘いとなることは必至だ。われわれが決意しなければ日本の労働者の未来はない」との断固とした決意を表明しました。

芝山町議選・鈴木幸司氏当選をめざし 一丸となって闘う ——反対同盟が決意表明——

反対同盟からは北原事務局長をはじめ、多くの農民の方々が発言に起ち、長谷川、沼田会談での「話し合いによる二期着工」と、脱落派による敵対を許さず闘う決意が述べられました。
とりわけ、来年三月の芝山町議選に立候補する鈴木幸司さんは「二期攻撃の真只中で、反対同盟一八年の成果にふまえ、身をもって闘う」との決意を表明しました。

集会は、最後に各団体の決意表明をうけて終了し、寒風をふきとばす戦闘的デモに出発、二期阻止、脱落派一掃のいきごみを示しました。



二期阻止・脱落派一掃の意気高く、三里塚大地をデモ行進